

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 山城千秋
担当理事 宮城政剛



「新型コロナウイルス感染症」関連資料の提供について

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。

那覇市保健所・仲宗根所長より「沖縄県疫学・統計解析委員会」からの報告事項をご提供いただきましたので下段にてご報告致します。

☆ 問合せ先(那覇市医師会 事務局:前泊・上原 / 電話 098-868-7579)

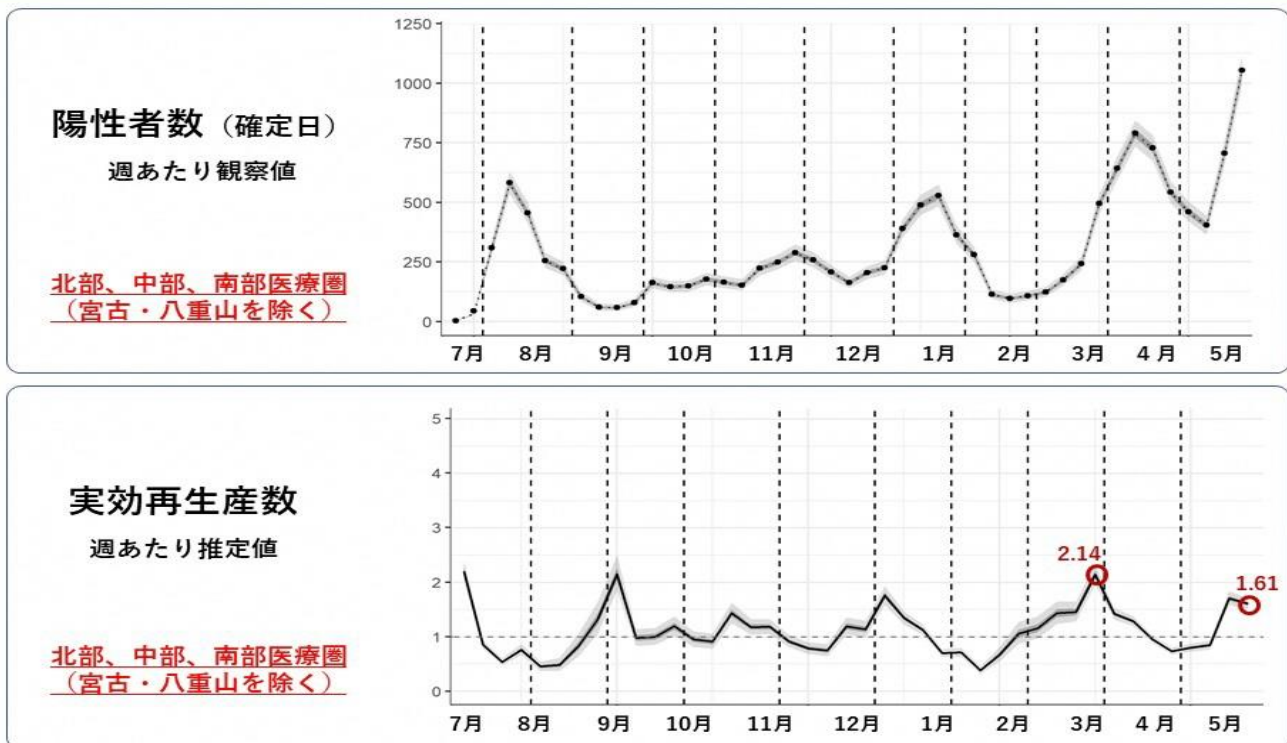
-記.....
- ◎ 沖縄県疫学・統計解析委員会から【現状】と【推定】と【解説】をいただきましたので、ご報告致します。(取扱注意でお願いいたします。) 【那覇市保健所 所長 仲宗根 正】

【現状】

沖縄県では、先週(5/17-23)の新規陽性者数は1,264人(前週 800人)でした。沖縄本島(周辺離島を含む)における週あたりの実効再生産数(R)は1.61(95%CrI:1.51, 1.71)であり、前週の1.71と変わらず急速な増加が続いています(図1)。

世代別では、20代が最多で345人(27%)、次いで30代が221人(18%)であり、いまだ若い世代での流行が続いています。一方、65歳以上の高齢者99人(8%)と前週の45人から倍増しています。75歳以上の高齢者は55人(前週22人)で、このうち31人が高齢者施設の入居者、3人が通所サービスの利用者でした。介護現場での集団感染が重なっています。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数(北部、中部、南部)



医療圏別では、北部 21 人（前週 36 人）、中部 395 人（前週 181 人）、南部 274 人（前週 187 人）、那覇市 439 人（前週 294 人）、宮古 46 人（前週 23 人）、八重山 83 人（前週 69 人）でした（図 4）。県外からの渡航者は 6 人でした。

市町村別では、多い順に、那覇市 439 人（前週 294 人）、沖縄市 121 人（前週 48 人）、宜野湾市 103 人（前週 47 人）、浦添市 96 人（前週 55 人）、うるま市 94 人（41 人）、石垣市 82 人（前週 66 人）でした。

多くの都市圏で急速に陽性者数が増加していますが、とりわけ那覇市での拡大が突出しています。中部でも増加速度が増しており、那覇市を追いかけています。また、宮古島市が再流行に入ってきており、社会福祉施設での集団感染も発生しています。また、一方、石垣市のみピークアウトする気配があります。北部での流行は認めていません（中南部に行かないでください）。

先週、変異ウイルス（N501Y）を同定する検査が実施されたのは 166 検体で、このうち 120 検体が N501Y 陽性で、陽性率 72%（前週 53%）と従来型からの置き換わりが進んでいます。中部の半数程度が従来型ですが、それ以外の医療圏はほぼイギリス型による流行となっています。

先週末（5 月 23 日）の入院患者は 351 人（5 月 16 日 299 人）と急速な増加に転じています。このうち、酸素投与など中等症患者 266 人（5 月 16 日 214 人）、気管挿管など重症患者 13 人（5 月 16 日 10 人）でした。

【推定】

沖縄県では、かつてない規模で流行が進行しています。活動的な若者の割合が高いことから、この傾向はさらに続くものと考えられます。緊急事態宣言が 5 月 23 日より出されましたが、その効果が現れるのは、少なくとも来週以降となるため、今週の陽性者数は、過去最大だった先週の 1,264 人を超えて 1,400-1,800 人に至るものと推定します。

若者から高齢者へと二次感染の波が重なっており、高齢者施設での集団感染も多発しています。重症化する感染者が増加しており、医療ひっ迫が加速しています。若者における流行を終わらせ、高齢者を守らなければなりません。

今週末の入院患者数は 420-480 人に至ると見込まれますが、病床確保が困難なレベルとなるため、実際には自宅療養で酸素投与が行われるなど、入院できない中等症以上の患者が発生することが想定されます。気管挿管等が行われる重症患者数は 18-20 人と見込まれます（図 7）。

図 7 今後 1 週間（5月24日-5月30日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療圏別入院率； 沖縄県
年齢群別重症化率； 厚生労働省
平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）			入院患者数 ※			重症患者数 ※		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
北部	9.9	20.0	40.3	17.7	18.3	19.2	0.6	0.6	0.7
中部	187.7	378.0	761.2	106.4	130.2	169.0	2.9	3.8	5.4
那覇市	204.1	411.0	827.7	107.8	132.2	171.9	8.3	9.2	10.7
南部	135.6	273.0	549.8	69.6	83.0	104.8	1.1	1.5	2.2
宮古	24.3	49.0	98.7	17.5	20.4	25.2	1.0	1.1	1.4
八重山	39.2	79.0	159.1	29.0	33.7	41.5	1.2	1.4	1.8
合計	601	1210	2437	348	418	532	15	18	22

※ 5月30日時点の見込み数

解析担当：水本憲治、大森亮介、島川祐輔

【解説】

沖縄県では、春休みをきっかけとする第4波が3月下旬より発生しました。この流行は重点措置等により収束へと向かっていましたが、大型連休をきっかけにして再流行へと突入しています。

過去にも連休後に大きな流行を経験してきましたが、二次感染の波は大きくはなく、3週間以内に陽性者数は減少へと転じてきました。ところが、今回の大型連休をきっかけにした流行では、二次感染、三次感染が加速しながら拡大しており、現在まで収束のきざしを認めていません。

大型連休というイベントだけでなく、その後、一部の飲食店が8時以降も再開していったこと。あるいは、延期されていたイベントが開催されるようになったことが考えられます。そこに、変異ウイルスへの置き換わりが生じたことが、加速要因となった可能性があります。

病床はひっ迫しています。第4波による入院患者数は減少していなかったため、今回の流行を受け止めるだけの医療体制はありません。重症患者へと重点的に病床を配分するため、自宅において在宅酸素やステロイド投与などの医療が提供できる体制を、県内の在宅医や訪問看護ステーションの協力により準備を始めています。

こうした異常な状態は、少なくとも2週間、おそらく4週間は続きますが、4月23日に出された緊急事態宣言の効果が得られなければ、4週間以上にわたることも考えられます。行政による形式的な掛け声だけでなく、県民や事業者の隙間のない協力をお願いしたいと思います。

すなわち、混雑している場所や時間を作らないようにしてください。これは職場も同様です。テレワークやオンライン会議を活用できないか検討していただければと思います。とくに多人数が集まるイベントは自粛してください。飲食を伴うもの（休み時間、終了後を含む）は必ず中止してください。

生活必需品の買い出しなど必要な外出にあたっては、屋内では必ずマスクを着用してください。そして、短時間で終わらせるようにしてください。ただし、健康を維持するためにも、屋外の散歩は必要な外出です。周囲に人がいなければマスクを着用する必要はありません。湿度が高くなっていますので、熱中症には十分にご注意ください。

会食については、同居する家族や固定された親しい方に限定するようお願いいたします。また、高齢者のいる世帯を訪問したり、食事をしないようにしていただければと思います。

地域医療を維持するために最大限の協力をお願いいたします。不要不急の救急受診を控えてください。体調不良のときは、まずは日中のクリニックなど、かかりつけの医師に相談してください。

救急車はコロナ患者の搬送のために走り回っています。そのたびに車内の消毒を要するため、搬送体制もひっ迫しています。救急車の適正利用に協力してください。本当に必要な救急要請なのか考えてください。

たとえば、高齢者施設で体調不良者を認めたとき、施設の送迎車で病院に連れていけるのであれば、どうか救急要請をしないでください。あるいは、翌朝まで待てるのであれば、それまで待って、日中のクリニックを受診させてください。ご家族もご心配だと思いますが、救急車を呼ぶようにと介護職員に求めないでください。

最後に、高齢者や持病のある方は、コロナの予防だけでなく、飲酒や喫煙を控えるなど、医師の指導を守って生活習慣病の合併症予防を心掛けてください。転倒や交通事故などにより怪我をしないようにしてください。皆さんが健康を保って過ごしていただけることが、何よりの医療現場への応援となります。

以上です。